

入札監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札監視委員会の平成23年度第3回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 平成23年11月25日(金) 14:00～16:00

会 場 北九州市庁舎15階 特別会議室B

平成23年度 第3回 北九州市入札監視委員会 議事概要

1 会議名

平成23年度 第3回 北九州市入札監視委員会

2 開催日時・会場

開催日時 平成23年11月25日(金) 14:00～16:00

会場 北九州市庁舎15階 特別会議室B

3 出席委員

阿野 寛之、柿内 よし子、藤田 賢一

4 欠席委員

菊池 裕子、高橋 衛

5 議事

(1) 平成23年度第2四半期の工事契約状況等の報告

次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

(2) 平成23年度第2四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、平成23年度第2四半期に契約をした工事の中から、柿内委員が10件(契約室契約分8件、建設局東部整備事務所契約分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) いずれも、道路の土木工事であるが、落札率の差が大きいのはどうしてか。

(答) ランダム係数が影響しているのではないか。現在の土木業界は競争が厳しく、最低制限価格付近で競い合っている。今回、高い落札率だった案件は、ランダム係数が大きかったため、ほとんどの業者が最低制限価格を下回り、たまたま予定価格付近で入札した業者が落札したものと思われる。低い落札率の案件については、ランダム係数が小さかったため、最低制限価格付近の競い合いとなったためと思われる。

(問) 受変電盤等の機械器具設置工事の場合、上水道管布設工事の様に、市が直接現物を購入し、業者には布設工事だけを発注するようできないのか

(答) 上水道の管は品質を確保する必要があるので支給材としているが、機械器具については、一定の性能を有しておれば機種指定はしていない。

(問) 舗装の業種は競争が厳しいのか

(答) 第1位に「舗装」を選択している業者の数が全体的に少ないので、第2位に舗装を選択している業者も入れて入札を行うことがある。全体的に最低制限価格付近での入札となっており、競争は厳しいと思われる。

(問) 機械器具設置工事の落札率が極端に低いのはなぜなのか

(答) 単純に機械器具を設置する工事では、機械の設置に係る工事費は業者間であまり差がでないため、いかに機械器具を安く購入できるかにかかっている。メーカーは、自社製品のシェアを伸ばすためや在庫整理等で安く代理店に製品を卸すことがある。それが入札結果に表われていると思われる。

- 1 次回の工事の抽出は、菊池委員が担当することとなった。
- 2 次回の委員会は、平成24年2月16日(木)に開催することとなった。